



平成 1 5 年 5 月 8 日
日本原子力発電株式会社

平成 1 5 年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要について

当社、東海発電所、東海第二発電所の平成 1 5 年度の事業計画概要について、別紙の
通りお知らせ致します。

添付資料 平成 1 5 年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要

平成 1 5 年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要

1. 運転計画

平成 1 5 年度の東海第二発電所の運転計画を下表に示します。

	東 海 第 二 発 電 所	
運転計画	発電電力量	約 8 0 . 3 億 k W h
	最 大 電 力	1 1 0 万 k W *
	設備利用率	約 8 3 %
定期検査 (第 2 0 回)	作 業 期 間	平成 1 6 年 2 月 1 日から 約 4 9 日間

* : 定格熱出力一定運転により若干の増加あり。

2. 主な工事等

(1) 東海発電所 廃止措置工事

東海発電所は、平成 1 3 年 1 0 月 4 日に提出した原子力施設使用廃止報告書に基づき、同年 1 2 月に廃止措置に着手し、安全貯蔵に係る隔離作業を行い、第一期解体工事を開始しました。

平成 1 5 年度は、原子炉領域の安全貯蔵を継続するとともに、使用済燃料冷却池洗浄・排水工事、電源設備変更工事及びタービン建屋領域機器撤去工事を行う計画です。

(添付資料 - 1 参照)

なお、第 2 回施設定期検査を 4 月 2 5 日から 3 5 日間の予定で行っているところです。

(2) 東海第二発電所 使用済燃料貯蔵設備の増強工事

乾式貯蔵容器による使用済燃料貯蔵設備の増強工事については、建屋、設備工事及び貯蔵容器(一期工事 : 7 基) の製作が平成 1 3 年 7 月に完了し、平成 1 3 年 1 2 月から使用しております。

平成 1 5 年度は、昨年度から製作している第二期分の貯蔵容器(8 基) の製作が完了します。

(3) 東海発電所、東海第二発電所 放射性固体廃棄物の処理設備の設置工事

東海発電所、東海第二発電所で発生した放射性固体廃棄物の減容・固化と埋設処分の推進のため、雑固体減容処理設備及びセメント混練固化装置を両発電所の共用設備として東海第二発電所の廃棄物処理建屋(既設) 内に設置する計画です。

(添付資料 - 2 参照)

雑固体減容処理設備の設置工事

不燃性・難燃性の雑固体廃棄物を、減容処理（高周波溶融・焼却）し、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターに埋設処分できるように固型化する「雑固体減容処理設備」を設置する計画です。

セメント混練固化装置の設置工事

液体廃棄物処理系の廃液を減容処理した固体廃棄物として、東海発電所には蒸発固化体が、東海第二発電所では減容固化体があります。

これらを、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターに埋設処分できるように、セメント固化処理する「セメント混練固化装置」を設置する計画です。

スケジュール（上記、共）

- ・原子炉設置変更許可申請：平成14年12月申請済
- ・設備設置工事開始：平成15年度（予定）
- ・運用開始：セメント混練固化装置[平成16年度（予定）]
雑固体廃棄物減容処理設備[平成17年度（予定）]

3. 燃料輸送計画

(1) 新燃料輸送計画

東海第二発電所用新燃料

- ・輸送体数：計 172体
- ・搬出元（事業者名）：(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
：原子燃料工業（株）
- ・輸送期間及び回数：第2四半期（3回）

（注）輸送体数、時期は変更されることがあります。

(2) 使用済燃料輸送計画

東海第二発電所使用済燃料

- ・輸送体数：計 96体（約17トンU）
- ・輸送容器型式（容器数）：NFT-32B型（3基）
- ・搬出先（事業者名）：日本原燃（株）
- ・輸送期間及び回数：平成15年度（調整中）（1回）

（注）輸送体数、時期は変更されることがあります。

以 上

東海発電所廃止措置

第一期工事工程表

項 目		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
原子炉領域	安全貯蔵措置										
	安全貯蔵										
原子炉領域以外	使用済燃料冷却池洗浄・排水										
	準備工事 (電源設備改造工事等)										
	タービン建屋領域設備撤去工事										
	原子炉サービス建屋領域設備撤去工事										
	燃料取扱建屋領域設備撤去工事										
	燃料取替機等撤去工事										

第一期工事の解体対象範囲

■ ; 解体撤去対象



